

令和3年大田区における刑法犯認知件数について

【刑法犯認知件数及び自転車盗】

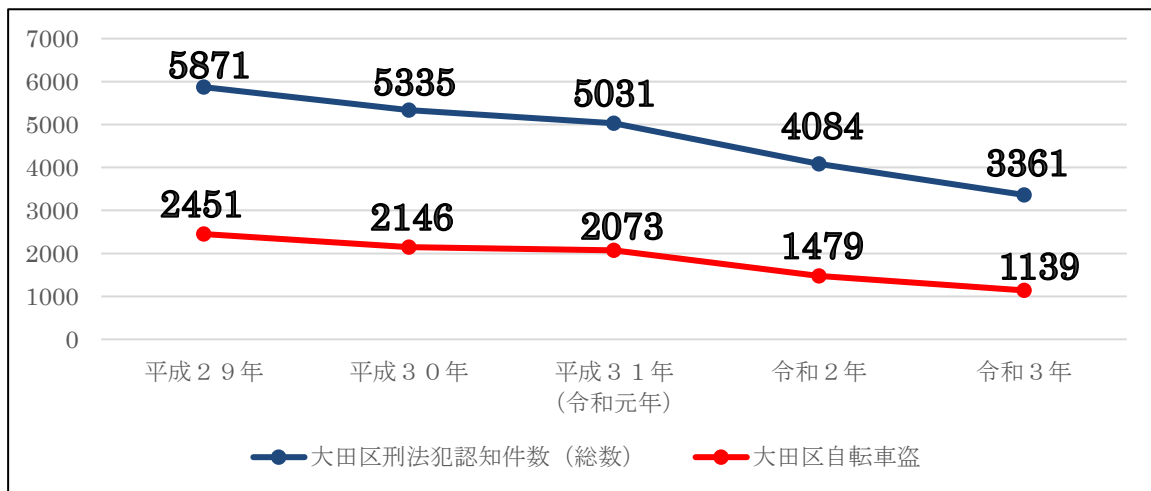
令和3年の大田区における刑法犯認知件数は、3,361件（前年比－723件）で23区中の順位は、ワースト4位（令和2年は、ワースト3位）となり、自転車盗は、1,139件（前年比－340件）で23区中の順位は、ワースト3位（令和2年は、ワースト2位）であった。

大田区内の刑法犯認知件数及び自転車盗の件数は、いずれも減少傾向にあり、23区中の順位（ワースト）もそれぞれワンランク下がった。

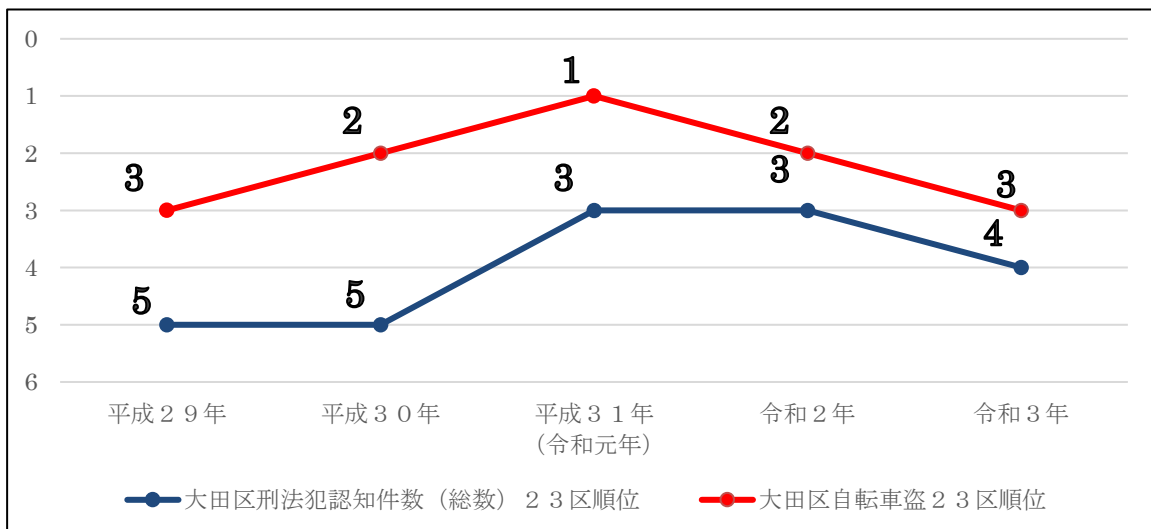
また、人口千人に対する刑法犯認知件数比率は、4.61件（前年比－0.96件）で、23区で7番目（令和2年は、23区で13番目）に治安が良かった。

自転車盗に関しては、盗難の多い場所等を分析のうえ、区内警察署や都市基盤整備部と連携し、実効性のある対策を引き続き実施していく。

《大田区内刑法犯認知件数推移(過去5年)》



《23区ワースト順位推移(過去5年)》



【特殊詐欺】

令和3年の大田区における特殊詐欺被害件数は、181件（前年比+27件）で23区中の順位は、ワースト2位（令和2年は、ワースト2位）で被害額は約3億2,819万円（前年比-約178万円）であった。

特殊詐欺被害の手口別内訳は、還付金詐欺が69件、オレオレ詐欺と預貯金詐欺が36件、キャッシュカード詐欺盗が34件、架空請求詐欺が5件、ギャンブル詐欺が1件であった。

特殊詐欺被害の件数は、増加していることから、高齢福祉課や消費者生活センターなどと連携して、今後も抑止効果の高い自動通話録音機の普及を促進するとともに、様々な広報ツールを活用して区民の防犯意識を高めていく。

《大田区特殊詐欺被害件数推移(過去5年)》

